

議会だより



第65回厚真町成人式

平成24年第4回定例会

平成23年度決算を認定・決算審査特別委員会の主な質疑……………	2～7
補正予算を審議し全員賛成で可決・厚真川河川改修事業促進に関する意見書案に全員賛成……………	8～9
第3回臨時会の報告（教育委員に兵頭利彦氏を再任など）……………	9
旧高丘ゴルフ場工事完成・上厚真市街地整備計画の推進状況を審議（全員協議会報告）……………	10～11
「TPPから学んだこと」管内議員研修報告……………	12
一般質問「ここが聞きたい」3氏が町政を問う……………	13～15
図書カードが当たる「議会だより」150号記念クイズ……………	15
元気なスポーツ少年団（上厚真バドミントン）・地域の話（カフェ森のかおり）……………	16

年度報告各会計決算の認定など、報告3件、町長の行政報告、
れ、慎重に審議し、全て可決しました。

平成23年度決算を認定

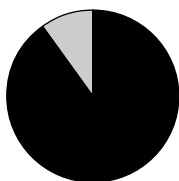
平成23年度各会計歳入歳出決算は、11月13日～15日の3日間、
町議会に設置された決算審査特別委員会（木戸嘉則委員長）で慎重に審査の結果
全会一致で承認され、12月13日開催の第4回定例会において全会一致で認定されました。
（主な質疑は4ページから掲載しています。）

一般会計

収入 61億 1662万円
支出 58億 2405万円
差引 2億 9257万円
平成23年度一般会計は3億円近い繰越となりました。繰越金の平成24年度予算は500万円なので、2億8千万円以上の使い道が自由な財源が生まれたこととなります。

国民健康保険(特別会計)

収入 6億 8657万円
支出 6億 6220万円
差引 2437万円
差引で黒字になっていますが、一般会計から6826万円の繰入があるため、実質的には4389万円の赤字です。



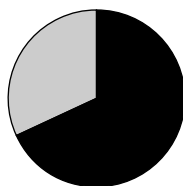
■特別会計の財源
■一般会計からの繰入金
(特別会計の赤字分)

老人保健(特別会計)

収入 44万円
支出 19万円
差引 25万円
老人保健は廃止となっており、整理をするための会計です。

後期高齢者医療(特別会計)

収入 6044万円
支出 5777万円
差引 267万円
差引黒字となっていますが、一般会計から1929万円の繰入があり、実質的には1662万円の赤字です。



■特別会計の財源
■一般会計からの繰入金
(特別会計の赤字分)

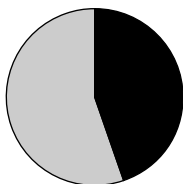
第4回定例会

平成24年度第4回定例会が12月13日、14日の両日開催され、平成23
同意1件、諮問1件、議案24件、認定7件、意見書案1件が提案さ
一般質問では、3議員が質問し、町の考えや対応をたしました。

公共下水道(特別会計)

収入 1億 9688 万円
支出 1億 8983 万円
差引 705 万円

差引額は黒字になっ
ていますが、一般会計
から1億 892万円の繰
入があり、1億 187万
円の赤字です。

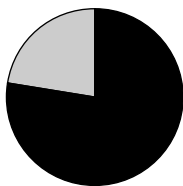


●特別会計の財源
■一般会計からの繰入金
(特別会計の赤字分)

簡易水道(特別会計)

収入 2億 1757 万円
支出 2億 1052 万円
差引 705 万円

差引額は黒字になっ
ていますが、一般会計
から4883万円の繰入
があり、4178万円の
赤字です。

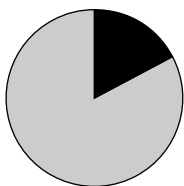


●特別会計の財源
■一般会計からの繰入金
(特別会計の赤字分)

介護保険サービス(特別会計)

収入 2536 万円
支出 2536 万円
差引 0 円

差引が0円となっ
ていますが、一般会計
からの繰入が2093万
円あり、その額が赤字
です。

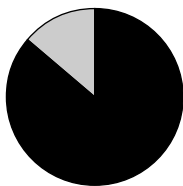


●特別会計の財源
■一般会計からの繰入金
(特別会計の赤字分)

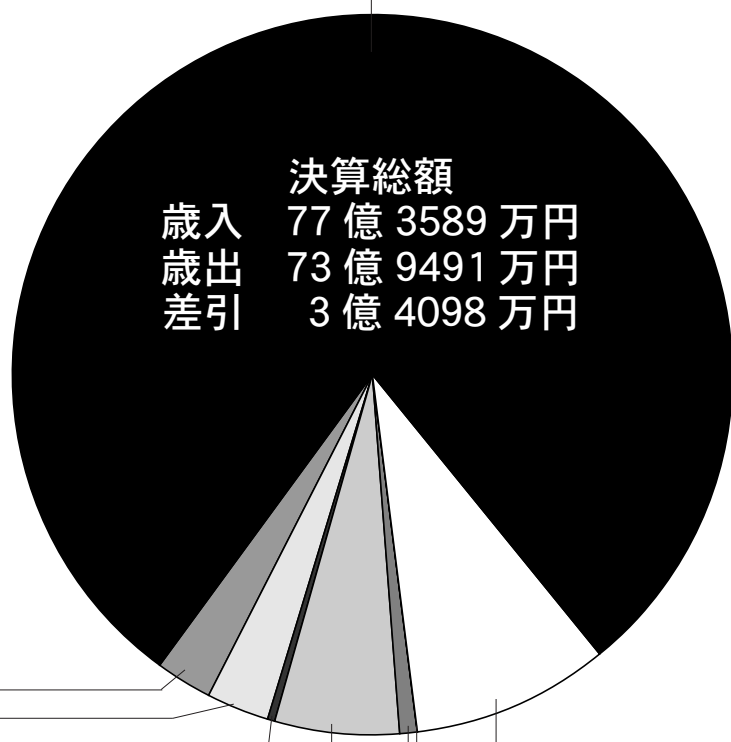
介護保険(特別会計)

収入 4億 3198 万円
支出 4億 2495 万円
差引 703 万円

差引黒字となっ
ていますが、一般会計
から5955万円の繰入
があり、実質的には5252
万円の赤字です。



●特別会計の財源
■一般会計からの繰入金
(特別会計の赤字分)



※各会計は万単位以下の端数を切り捨てているため、
各会計の合計と決算総額には誤差があります。

決算審査特別委員会の主な質疑

財政力指数

問 今まで町の財政力指数は高かったが今後の見通しは。

町長 苦東地域の減価償却資産税が減ってきており、その改善方法としては事業所の設置を行う必要があり、企業誘致を行っている。

また、農業を中心とした地域振興に力を入れることや、税金を納めていただく現役世代に定住していただくことなどである。

幸い苦小牧港の東港に苦東地域を抱えており、経済活動が順調に推移しているため、取り込んでいく努力もしていきたいと考えている。

過疎指定

問 過疎指定が町において、メリット・デメリットがあるが、指定に向けた対応はどのようになっているか。

町長 前回判定時には要件を満たすことができなかったが、現在は要件を満たしており要請活動をする。今後に控えている、農業用水再編対策費負担金や消防無線など大型起債を予定しているため、過疎債を使えるようにしたい。

災害対策費

問 防災会議が開催されなかった理由は。

総務課主幹 防災会議は地域防災計画見直しの際に意見を聞くために開催するもので、平成23年度は計画の見直しがなかったため会議の開催もなかった。

資産区分

問 カントリーエレベーターサイロは物品では。

会計管理者 物(サイロ)であっても、土地や建物に固定されてその不動産と継続的に一体となっているものは不動産の従物となる。

サイロは平成13年度の備品として購入したため物品としていたが、調査して次年度に結果を反映させたい。



農地あつせん

問 あつせん価格は、双方が納得すればいいのではないか。3条の売買では不利がある。農業委員

の間でそういう疑問はないのか。

農業委員会局長 価格の基準は特にならないが、地域の実例などからみて大きく外れないように調整している。あつせんの基準に満たなければ3条による売買もある。不利な面については説明して理解を得ている。

基準価格が必要かどうかについては、今後委員会で意見をまとめたい。

※農地法第3条

農地等の所有権・使用权等を移転するには、農業委員会の許可が必要である。

あつまネット

問 現在の加入数と今後の町の負担額は。

まちづくり推進課主任 加入者は平成24年9月末現在79件である。現在の加入数で一年間の町の持ち出しは20万円ほどである。この額には機器の更新に掛かる費用は含まれていない。

定住移住

問 ラジオCM、テレビCMはどのようなことをしたか。また、費用は。

まちづくり推進課主幹 ラジオ放送は「ちよつと暮らし北海道」日曜日、午前7時30分から3ヶ月番組内でCMを行い、そのうち1回はすべて厚真町の特集を組んだ。

テレビCMについては、移住関係の番組内で2回

30秒テロップ型のCMを行った。

費用は、ラジオ1ヶ月15万円。3ヶ月で45万円。テレビ1枠10万円、2枠で20万円。

CM等効果の確認を図ることは難しいが、イベント会場でCMを聞いたという反応はある。現時点では各種のPR方法を検証している段階である。



テレビ難視聴対策

問 地デジテレビ難視聴は100%解消されたか。

まちづくり推進課主任

町が平成23年度に行ったテレビ共聴施設整備以外の場所にも難視聴の場所があるが、そちらは点在しているため、国の機関である「デジサポ」が支援、補助を行っている。

難視聴世帯には衛星放送でテレビを見ていただいているが、衛星放送が終了する平成27年までには国の「デジサポ」が難視聴対策を完了する予定で対策を進めている。

中央霊園（宇隆）

問 中央霊園の石段でお年寄りが転んでケガをしたと聞いたが、手すりを付けるなどの対策が必要では。

町民福祉課参事 平成25年度予算で検討する。

宅地分譲

問 フォーラムビレッジの販売済み宅地で、住宅が建設されていない所があるが、状況は。

まちづくり推進課主幹

現在13件成約し、2件が予約となっている。住宅は建築中も含め8軒である。



分譲が進むフォーラムビレッジ

指定管理料

問 本郷デイサービス指定管理料を追加補正しているが理由は。

町民福祉課主査 利用者の長期入院や競合施設開設の影響により指定管理料の協議基準である2%の収入減を上回ったため協議した結果、補正予算で対応したためである。

エンゼル基金

問 今後も積み立てるのか。

副町長 上厚真地区の認定こども園建設も視野に入れながら計画的に運用し積んでいく。

認定こども園「つみき」
問 工事費の不用額で入りの口は拡張はできなかつたか。

町民福祉課長 建物の構造上無理であった。
副園長 今の入り口で特に支障がない。

地域支援事業

問 看護師、作業療法士がいらない状況であるが、資格者がいないことによりサービスの提供に支障はないか。

町民福祉課主査 特定高齢者把握決定については、平成22年度まであつまくりニックに委託していたが、平成23年度からは国の指針により地域の保健師が決定できるようになり、その結果決定までの時間短縮が可能となった。

回収率はもともと70%近くあり残りの30%は医療経験のある看護師が訪問して回収することを考えていた。

しかし、看護師でなくとも訪問経験がある介護士であれば保健師のフォローがあれば対応でき、99%以上については把握可能となった。

また、作業療法士については、ケアマネージャーを採用し、空いた時間で保健師が作業療法士の役割をこなしてきた。しかし、リハビリ専門でないため限界があり、現在町内に在住する理学療法士の方と調整している。

今後も専門職の採用について募集を継続していきたい。

問 工事請負費

副町長 カントリーエレベーターの実施価格が予算の4割程度となっているが、理由は。こんなことがほかにもあるのか。

産業経済課主幹 平成22年3月に業者に参考見積を依頼し予算化した。実施にあたっては、不要箇所、修理部品単価の精査をし、町で再見積りをしたところ、所要額が大幅に減額となったため、入札による執行残となった。時間的にいとまがなく、そのまま計上した。



グリーンツーリズム
問 イモ掘り観光やパークゴルフで一時的に人が来るようだが、町を訪れる人が増えたという印象がない。今までの取り組みをどのように評価しているか。
産業経済課主査 旧来からイベントに集客がある

ものの、一定期間に人が集中しており、シーズンを通じてお客様が来ていられるように見えない。去年からモニターツアーを行い検証してきた結果、課題は見えてきたので、それを解決しながら来年度以降は旅行代理店のエージェントと交渉し

てお客様を呼び込みたいと考えている。
 来ていただいた個々のお客様にリピーターになっていただくのが一番いいと思っている。厚真町に来ていただける方の囲い込みをしながら、冬は難しいかもしれないが、春先から秋にかけて町内で提供できるメニューをお客様にお出しできないかと考えている。

ウトナイ湖直売所
問 緊急雇用対策事業で行ったウトナイ湖直売所でのPR事業に関して、実施した結果と売れた商品の状況は。また、直売所のあり方について研究を行ったとあるが、具体的な成果は。
産業経済課主幹 何が売れたかという事に関しては、品目までは把握していないが、販売した主なものは農産物、米、おふくろ味噌などの食料品である。

月16日までの期間にウトナイ湖に70万人、6月から10月まで平均1日2500人が訪れており、そのほとんどが苫小牧市民以外である。

水道使用料
問 徴収状況は。滞納対策として閉栓などをしてどうか。
建設課主査 滞納者は全体で50世帯ぐらいで、その内45世帯ほどがひとり親世帯、独居老人、営業不振などの困窮世帯であ

る。徴収方法として、昨年度滞納整理事務取扱要綱を作成し、閉栓方法などを定めている。困窮世帯の対応については、機械的に閉栓することのないよう慎重に扱う必要がある旨の国からの通達もあり、家庭状況を把握し適切に対応する必要がある。



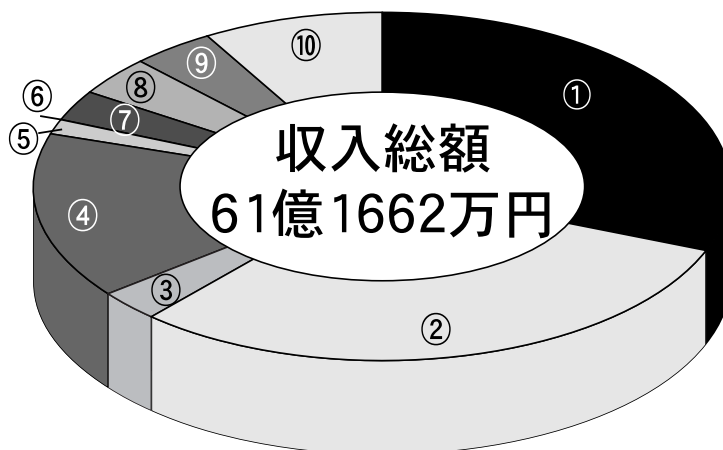
ウトナイ道の駅にあるJAとまこまい広域の野菜直売所

学校給食
問 アレルギー食対応の生徒が6人いるが、どのようなアレルギーか。
給食センター長 牛乳のみ1人、納豆1人、バターや油などの添加物1人、牛乳と卵が1人となっている。

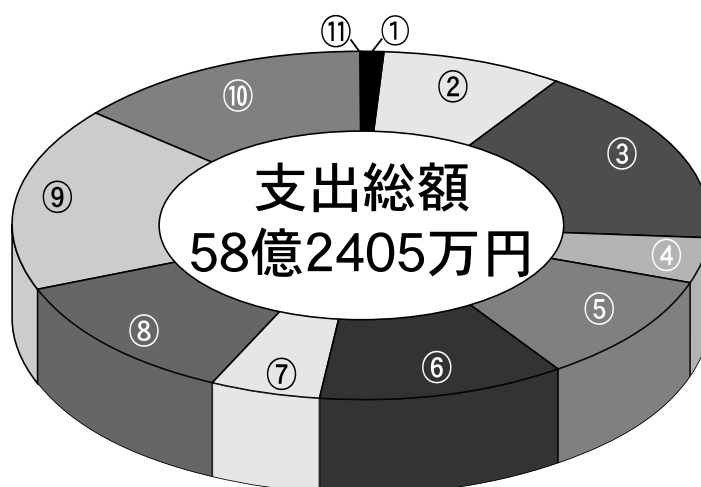
その子供に対して月9回通常の給食と同じような見た目の共通献立を実施している。

厚真高校
問 厚真高校教育振興会の通学助成費について、公共交通機関の利用者とその補助内容は。
生涯学習課主査 公共交通機関の利用者は、町内の生徒42人中4人、安平町15人中8人、苫小牧47人中44人で、運賃の2分の1を補助している。
 町内の遠距離通学者に対する助成は21人で、公共交通機関を使用しない片道6キロ以上の生徒を対象とし、8,000円となっている。

平成23年度一般会計決算の状況



	科	目	(単位万円)
①		町税・地方譲与税	189,559
②		交付金・地方交付税	186,817
③		負担金・分担金・使用料・手数料	17,657
④		国・道からの収入	94,571
⑤		財産運用・売却による収入	8,390
⑥		寄附金	116
⑦		基金からの繰入金	17,259
⑧		前年度繰越金	22,357
⑨		貸付金元金、延滞金、利子などの収入	23,597
⑩		町債	51,235



	科	目	(単位万円)
①		議会費	6,017
②		総務費	49,015
③		民生費	97,154
④		衛生費	24,507
⑤		経済関連（労働・農林水産・商工）	58,861
⑥		土木費	66,837
⑦		消防費	29,839
⑧		教育費	69,739
⑨		公債費	99,901
⑩		給与費	80,109
⑪		災害復旧費	428

差引 収入－支出＝ 2 億 9256 万円

※万円単位で端数処理しているため、若干の誤差があります。

補正予算を審議し全員賛成で可決しました。

（補正予算は、当初の予算に変更がある場合に計上されるものです。）

厚真町大型開発跡地等 環境保全基金積立金

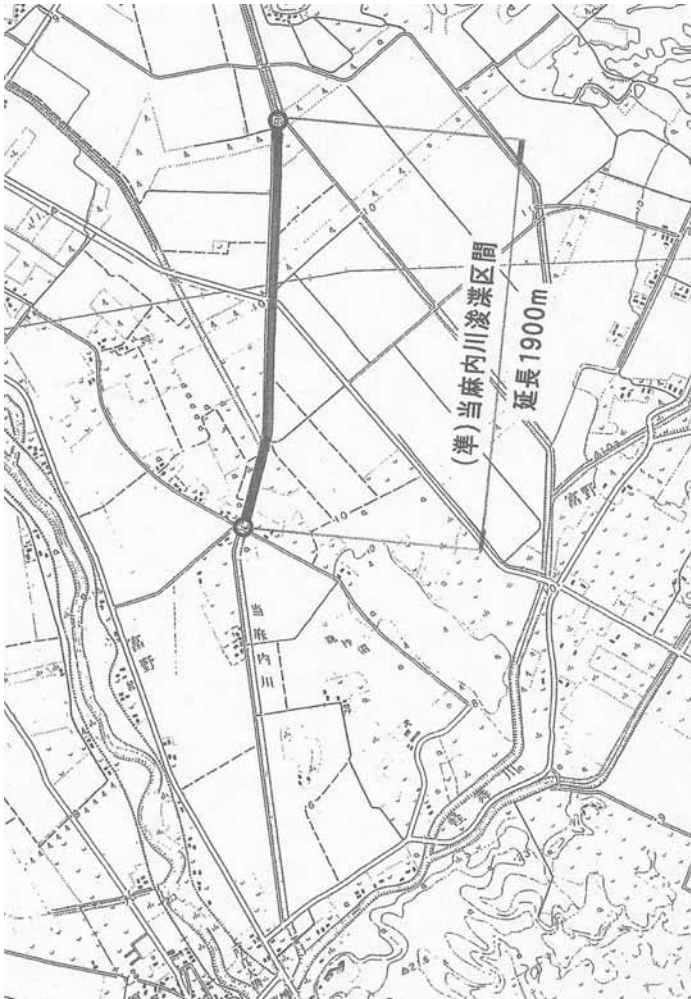
旧高丘ゴルフ場跡地維持管理のために、美津濃株式会社からの寄附金を基金として積み立てることを決定しました。

事業費1億2万円（新規）
財源 寄附金100%

高齢者等冬の生活支援 給付金

高齢者世帯、ひとり親世帯、障がい者がいる世帯などに、家庭用暖房費として一世帯当たり1万円支援することを決定しました。

事業費100万円（新規）
財源 町60万円
道40万円



河川管理事業

当麻内川の浚渫（しゅんせつ）を決定しました。事業費300万円
財源 町100%

こども園運営事業

臨時保育士賃金の増額を決定しました。事業費375万円
財源 町100%

中学校校舎整備事業

厚南中学校のストロップ6台の改修を決定しました。事業費152万円
財源 町100%

認知症対応型共同生活 介護施設整備事業

NPO法人「ゆうあいネットあつま」が運営する高齢者グループホーム「えがおの家」増築に伴う、介護職員養成・育成、介護サービス体制強化、備品・消耗品の購入に助成を決定しました。事業費600万円（新規）
財源 町60万円
道540万円

豊沢川改修事業

豊沢川改修の延伸に伴う補正予算を決定しました。事業費1,180万円
当初100万円
補正180万円
財源 町100%

在宅高齢者介護防事 業

道が作成した「安心して暮らせる地域づくりガイドブック」を参考とした、住民参加型の地域づくりを推進する取り組みをする事業を決定しました。

- 住民参加型高齢者支援事業
- 広域市町村連携事業

事業費300万円
財源 道100%

今回の補正で町の予算が次のように変わりました。

一般会計	補正額	1億1797万円
補正後の予算総額		55億9824万円
介護保険サービス(特別)	補正額	27万円
補正後の予算総額		2937万円
簡易水道(特別)	補正額	△294万円
補正後の予算総額		3億8629万円
公共下水道(特別)	補正額	△285万円
補正後の予算総額		1億8315万円

人権擁護委員候補者の推薦

田中俊幸さんの推薦について、全員賛成しました。

町大型開発跡地等環境保全基金条例の制定

(全員賛成)

この条例は、美津濃株式会社から寄附された1億円を原資とする基金を設置し、旧高丘ゴルフ場跡地及び周辺環境の保全に要する経費に充てることを目的としています。

特別職給与、教育長給与に関する条例の一部改正

(全員賛成)

この条例の改正は、町長、副町長、教育長の給与を平成25年1月1日から平成28年3月31日まで減額することを目的としています。

これにより町長の給与は月額77万円から70万8400円に、副町長が月額64万円から60万1600

0円に、教育長が月額60万円から57万円にそれぞれ減額となります。

町税条例の一部改正

(全員賛成)

たばこ税の税率を、1,000本につき4,618円から5,262円に改正しました。

交流促進センター条例の一部改正

(全員賛成)

こぶしの湯の客室改装により新たに洋室Bができたため、宿泊料金の上限を次のとおり改正しました。

	大	人	小	人
洋室 A	6,000 円		5,500 円	
洋室 B	5,000 円		4,500 円	
和室	5,500 円		5,000 円	

行政報告

宮の森保育園におけるノロウイルス集団感染

12月10日に園児2人、保育士1人がノロウイルスに感染したと報告を受け、11日に調査したところ園児3人、保育士1人の感染を確認、その他に検査を実施していないが吐気、嘔吐、下痢等の症状を訴える園児が11人、保育士1人を確認し、合計16人の感染もしくは感染の疑いを確認した。

11日に苫小牧保健所職員が現地確認に入り、確認・指導を受けた。

感染のもしくは感染の疑いがある園児はいずれも軽症で自宅療養中である。

農作物の作柄状況報告

水稲は、登熟も順調に進み、製品率は大変良好になる見込みである。大豆は、おおむね昨年並みとなっている。

小豆は、やや良の作柄となった。てん菜は、順調に生育している。

秋まき小麦は、順調に生育している。

酪農・畜産は厳しい状況下で推移している。11月26日〜27日、12月6日の発達した低気圧により花卉ハウスなどに被害があった。被害総額は施設で72万円、花卉17万円となっている。

厚真川河川改修事業促進に関する意見書

(全員賛成)

要請の内容は次のとおりです。

厚真川河川改修事業においては、厚幌ダムまでの未改修区間の早期完成を図る事。

提出者 議員 木戸嘉則
賛成者 議員 吉岡茂樹
議員 大捕孝吉
議員 下司義之
議員 木本清登

この意見書は議長名で北海道知事に提出されます。

第3回臨時会

平成24年第3回臨時会が11月28日に開催され、同意1件、承認1件を審議し、すべて原案通り可決しました。

行政報告

教育委員の任命

(同意)

次の2件について行政報告がありました。

旧高丘ゴルフ場

10月25日で防災工事が完了し、美津濃株式会社から、土地、及び、1億円の寄付の申し込みがあった。

今後、その土地は、町有地とすべく所有権移転登記の手続きを進めると共に、寄附金については、保全管理に備えるための基金として条例提案の準備をすすめている。

厚幌ダム建設工事

厚幌ダムの完成年は、本体工事の発注が平成26年度となり、工事期間を1年短縮しても完成は当初予定(平成28年)から1年延ばせざるを得ない状況となった。

専決事項(承認)

一般会計補正予算の専決処分が報告され、全員賛成で承認することを決定しました。

補正予算の内訳は、衆議院議員選挙に伴うもの708万円で、財源は全額国道支出金です。

全員協議会の報告

旧高丘ゴルフ場防 災工事完了を審議

問 防災工事が終わったということだが、今後ゴルフ場跡地の植林、クラブハウスの撤去は。

まちづくり推進課長

今後の土地利用についてはまだ具体的に検討していない。

※旧高丘ゴルフ場については、「議会だより148号」平成24年8月10日発行に詳細を掲載しています。



完了した、旧高丘ゴルフ場防災工事

財政計画の確認

問 職員数の推移については、今後上厚真に認定

ことも園が開設されることにより影響があると思うが、計画に盛り込まれているか。

副町長 園の計画がはっきりしなければ決められない。

問 臨時職員数について、今後どのように考えているか。

副町長 正職員数が減っていく状況で臨時職員数を減らすのは難しい。

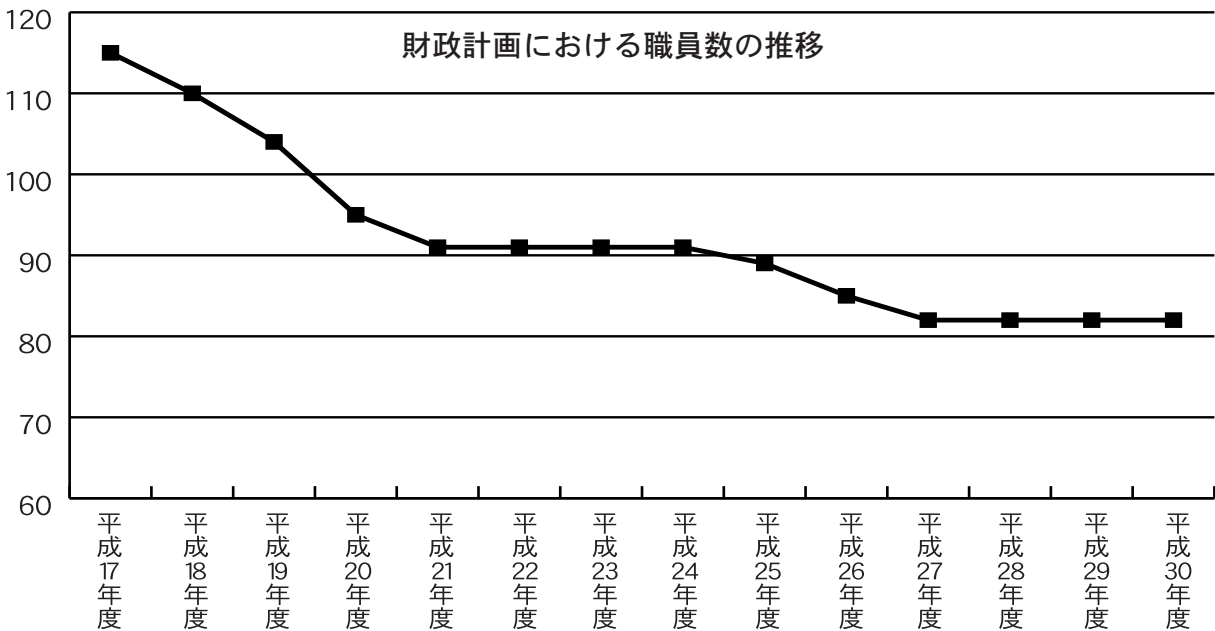
財務書類の審査

問 土地の評価は一般的に民間企業等で採用している減損会計を採用しているか。

総務課主任 公会計では資産について時価評価を採用している。

減少分は貸借対照表の純資産の部を減額してバランスをとっている。

財政計画における職員数の推移



地域主権一括法に伴う各種条例の一部改正及び制定を審議

地域主権一括法に伴い権限が国道から町へ移譲されることから、町条例の改正、制定が提案され審議しました。

今回、町独自に基準を設けたものはありません。なお、独自に基準を設けることができる条例であっても、他の法律の規制を受けるため、独自の基準を設けることはほとんどできないということです。

上厚真市街地整備計画の推進状況を審議



土地利用図（上厚真柏地区土地区画整理事業）
町では子育て支援住宅を（A）の場所に8戸建設する予定

問 土地開発公社で上厚真郵便局の裏を先行取得したと聞いているが、換地によって場所を変えるのであれば、はじめからそこを買ったほうが良かったのでは。

まちづくり推進課主幹 地権者の分譲に対する不安を解消するために15%の土地を先行取得した。現遊閑地の基本原則はあるが、地権者が納得了解していたければ、元々の土地にこだわらなくてもいい。

問 当初は民間の力でということだったと思うが、だんだん役場主導になってきているのでは。

町長 上厚真市街地を再開発して移住・定住用に開発したいと考えている。しかし、これまでのような方法では町の財政負担に無理があるため、たくさん土地を持っている方々に協力していただいで、町も応分の協力をしながら宅地分譲するという発想であった。

問 分譲価格は坪2万1000円から2万2000円か。

まちづくり推進課主幹 分譲価格は2万3000円程度を予定している。

問 真水の町の投資額は、5000万円、その内2分の1が社会資本整備総合交付金で補てんされる。

問 上厚真柏区というところであるが、町内で「かしわ」（かしわ公園、本郷）という名称が使われている。ていてまぎらわしいが、このまま「柏」という名称を使うのか。

まちづくり推進課主幹 今回分譲する場所が上厚真柏区にあり便宜上その名称を使用している。この名称で売り出すとか、事業を進めるといったものではない。

問 上厚真の認定こども園はこの地区に設置されるのか。

町長 認定こども園は、現在の宮の森保育園の場所にしたかと考えていたが、児童公園、児童館も併設したいと考えているので、場所については白紙に戻して考えている。

問 現在のの上厚真市街地をどのように考えているか。

町長 手順として、一団の空き地を先に再利用して人の流れをつくっていかなければならない。中心市街地を再整備するのはものすごく時間もエネルギーも財源も必要になると考えている。

※全員協議会における協議事項
新たな政策、政策の転換、重要な行政課題及び緊急な問題に対し、議会に説明する必要があるものや、議会に意見・考え方を問う必要があるものがあるものについては、協議事項としない。
(全員協議会等の開催基準より抜粋)

「TPPから学んだこと」

胆振管内町議会議員研修報告 木本清登 議員

胆振管内町議会議員研修会が、11月26日に洞爺湖万世閣で開催され、道

総合政策部政策局参事木本晃氏を講師に迎え「TPPから学んだこと」をテーマに研修しました。

TPPにおける

「期待」と「懸念」

期待1 FTAAP（アジア太平洋自由貿易圏）へのステップとなる。
期待2 お互いの関税撤廃で貿易が盛んになる。
期待3 日本の製品が参加国で差別されないようになる。
期待4 日本の技術、ブランドが守られるようになる。
期待5 日本企業の投資が、参加国で不当な扱いを受けないようになる。
期待6 貿易・入管手続

きの簡素化で、中小企業も海外で活躍しやすくなる。

懸念1 全製品の関税撤廃により、農業の衰退や自給率の低下を招く。

懸念2 食品の安全基準が緩和され、安全でない食品が増える。

懸念3 公的医療保険を受けられる範囲が縮小される。

懸念4 質の低い外国人専門家や単純労働者が大量に流入する。

懸念5 地方の公共事業が海外企業に取られてしまうのでは。

懸念6 外国人投資家が訴え、日本の制度が変えられてしまうのでは。

この事をふまえて北海道の心配とは。

TPP構想参加反対をしてもいやならやめられるか。交渉だけ参加しても100割交渉だから80〜70割でも交渉から抜けることはできない。例外は認められない



（例外を認めないと言っではいるため）。

北海道の流通が自分だけでは現在の価格を維持できなくなる。道内で、牛乳、砂糖ができなくなる。道内の米農家が休んで畑をやると全国の農家がつぶれるだろう。医師が都市（札幌）に集中する。北海道の土地が外国に取られる。

しかし、大企業は大きな力で国を動かそうとする。（逆輸入品目が増える。国内雇用が無くなる）そして国も消費者より企業

を豊かにする事を優先する。

しかし、世の中は変わってしまった、国民は国がどうかしてくれと考え、個性ある国づくりがおろそかになり、誰のためか公共事業が分からなくなりつつある。そこで皆さんは勝手な事をさせないためにうるさいおやじにならないといけない。

求められるのは、すぐ答えを見つけないのではなく、こだわり続け答えを探し続けながら良い質問をして良いことに気づき、学ぶことである。

見えなくなってきた。（方法論が見えない）

ビジョン（展望）を共有することで、夢のある技能と教養が得られる国にするために、結論として、うるさいおやじにならないければならない。

3・11では、人間は直接関係がなくても、そこにいるだけで感動できる事を教わった。

みんな普通の人で意見の違う人が多くいて、それで世界は美しい。いろいろな意見があつて全部正しくなくても正しいものであつてそれで完熟していくのであろう、少なくともやれる事からやっ

て行こう。自分がここにいて何がかわるだろう、自分がいけば周りも一緒に生きて行くことができる人になろう。

うるさいおやじがしゃべれば、若者がきりつとすれば、若者がきりつとすれば女の人が喜ぶ。女の人が喜べば街が明るくなる。街が明るくなれば国が良くなる。以上。

一般質問

ここが
聞きたい？



吉岡茂樹 議員

移住定住

フォーラム・ルーラルビレッジ エゾシカ対策は

答 総合的に有効策を検討する

問 フォーラム・ルーラルビレッジは、豊かな自然と広い分譲面積をモットーに、あこがれの豊かな田舎暮らしを実感できる地域として分譲している。

同地区では家庭菜園で採れた野菜等を知人へ送り町をPRしていただいている方も数多くいるが、周辺地区にはシカ柵が設置されたもののこの地区はオープンであり、林業専用道路も利用した複合的対策が必要では。



町長 この地区はエゾシカ侵入防止柵の外側に位置しているが、今後全町的に増えているエゾシカの個体調整を進めるので、特にこの地区を重点的にする。

また、現在整備している林業専用道新町豊沢線が完成した後に、設置されている侵入防止柵の移転等も含め、今年度中に現状を調査し、地域の方々、関係機関とも協議しながら総合的に対策を検討したい。

入札制度

公共事業入札の ダンピング対策は

答 現行制度で十分である

問 現在の入札制度では、落札額が労働者の賃金、雇用環境への影響が懸念されるので、「変動型最低制限価格制度」の導入を提案する。

町長 町では、平成17年5月よりダンピング防止を図るため500万円を超える工事契約に最低制限価格を導入している。平成24年度現時点では、34件の平均入札率は、97・2%であり最低でも90%を超えている現状であり、ダンピングは行われていないと認識している。

現状の最低制限価格を遵守し難しい仕掛けを作らなくても現行の制度と効果は変わらないと思う。

高齢者共同福祉住宅 の建設は

答 まち活性化のためにも必ず造る

町長 現在町内の高齢化率が33%を超えている。500世帯を超える高齢者世帯があり、受け皿として、ともいき荘、公営住宅、介護施設で満足で

問 所信表明の「きめ細かな社会福祉」の中に、「高齢者共同住宅等の検討を進め」とある。また、本年(平成24年)6月に行われた町長選挙の宮坂町長後援会発行の「マニフェスト2012 新しい風Ver.2」や「選挙広報」にも「高齢者共同福祉住宅の設置に向けて環境を整備し」とあるが、「高齢者共同住宅等」とはどのような施設か、また、整備スケジュールは。

概要 サービス付き高齢者向け住宅 って何ですか？

「サービス付き高齢者向け住宅」とは、**高齢者単身・夫婦世帯が安心して居住できる賃貸等の住まい**です。

平成23年の「高齢者の居住の安定確保に関する法律(高齢者住まい法)」の改正により創設された登録制度です。

高齢者にふさわしいハード	安心できる見守りサービス
<ul style="list-style-type: none"> ●バリアフリー構造 ●一定の面積、設備 	ケアの専門家による <ul style="list-style-type: none"> ●安否確認サービス ●生活相談サービス

1 登録は、都道府県・政令市・中核市が行い、事業者へ指導・監督を行います。
2 家賃やサービスなど住宅に関する情報が開示されることにより、自らのニーズにあった住まいの選択が可能となります。
(サービス付き高齢者向け住宅では、安否確認・生活相談サービス以外の介護・医療・生活支援サービスの提供・連携方法について様々なタイプがあります。)

国土交通省・厚生労働省が所管する「高齢者住まい法」の改正により、平成23年10月から登録がスタートしました。

危険や不便が少ないハード面の安心、高齢者だからこそ必要なサービスを充実させたソフト面の安心、さらに地方公共団体が登録・指導・監督を行うという安心、このように多くの「安心」を備えていることが「サービス付き高齢者向け住宅」の特長です。

[詳細はこちら](#)

町長 厚幌ダム周辺の環境整備については、平成4年12月にダム建設の合意後、幌内地区で活性化委員会が組織され、平成10年12月に厚幌ダム周辺整備計画書案が町に提出

問 所信表明の「環境保全と交流促進」の中に、「厚幌ダムサイト等の高度利用を図り、町民に愛される「あつま」をめざします。」とある。厚幌ダムも平成30年供用開始が確定的となった状況の中で、ダムサイト活用構想も今までと違った取り組みが必要と思うが、構想の内容と計画の進捗状況は。

町長 自然環境を生かし、まち全体をわくわくするような方針で整備をしていきたい。

問 「冒険の森」はグリーンツーリズムの大きな柱になりえる事業と思うが、その他の質問

問 所信表明の「環境保全と交流促進」の中に、「厚幌ダムサイト等の高度利用を図り、町民に愛される「あつま」をめざします。」とある。厚幌ダムも平成30年供用開始が確定的となった状況の中で、ダムサイト活用構想も今までと違った取り組みが必要と思うが、構想の内容と計画の進捗状況は。

さされた。この提案を受け事業主体である道も平成14年に基本計画をまとめた。道による整備は、平成29年度のダム事業完了までに限られるので、もういちど計画を確認し、道とも協議も開始する。

一般質問

ここが聞きたい？



下司義之 議員

交流促進

厚幌ダムサイト構想進捗状況は

答 29年度に完成する

一般質問

ここが
聞きたい？



海沼裕作 議員

教育振興

厚高の支援を今後どうするか

答 夢がかなう支援を検討する

問 将来道内の少子高齢化の進展に伴い高校の間口減少等が行われたとき、厚高の支援は今後どうするべきか。

子どもには「早く立て、立てば歩め」の願いから子育てが始まり、年齢を重ねるとともに、子どもへの夢は徐々に狭まれていくものと思っている。

厚高なら夢がかなう、入学したくなる学校にするための支援はどのようなものか、教育委員会ではどう考えているか。



教育長 厚真高校の特色ある教育推進のため、12年前から通学費や資格試験検定の助成を続けている。

苫小牧東高校のキャンパス校になり、質を高める教育として週8時間同校の先生が来て授業をしている。

この制度開始以降、町外から1学年約20人が入学している中で、40人1間口は守っていききたい。生徒の夢がかなう活動を学校と連携し、支援の充実を検討していく。

「議会だより」150号の発行にあたり

議長 渡部孝樹

「あつま議会だより」は、昭和48年8月の発行以来、このたび記念すべき150号を迎えることができました。

これもひとえに、町議会を築いてくださった先輩議員の皆さまや、町民の皆さまのご理解、ご協力のおかげと感謝を申し上げます。

我々議員には、町民の代表という自覚を持ちながら、議会の活動状況や審議内容を町民の皆さまに正しくお知らせし、ご

理解をいただく重要な役割がありますが、その方法の一つとして、「議会だより」がございます。

平成23年5月の改選以降からは、「編集長制」を導入し、より見やすく、分かりやすい紙面を目指すとともに、皆さまの声を積極的に町政に反映させる努力をしております。

議会としましては、今後も皆さまから親しまれる広報活動、開かれた議会活動を目指してまいりますので、さらなるご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。150号発行のごあいさつといたします。

「議会だより」150号記念クイズ

正解者の中から抽選で10名様に「図書カード500円分」をプレゼント。

◇問題 2013年1月1日現在、厚真町議会議員の定数は何人。

次の3つの中からお選びください。

- ① 8人
- ② 10人
- ③ 11人

◇応募方法 ハガキに、クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、応募してください。

◇締め切り 平成25年2月28日（当日消印有効）

◇宛先 059-11692 厚真町京町120番地 厚真町議会事務局

◇抽選結果 賞品の発送により発表に代えさせていただきます。

元気なスポーツ少年団⑦

上厚真バドミントン



指導者

折坂泰宏さん

上厚真バドミントンは平成23年に発足したばかりのスポーツ少年団です。

現在10名の団員で活動しています。

子供たちに挑戦する場と豊かな経験、そして、スポーツマンシップを学んでもらう事をもつとくに、週2回の練習に取り組んでいきますので、興味のある方は一度見学にいらしてください。

地域の話題⑦

カフェ森のかおり

厚真市街から車で鶴川へ向かって3分もたたないうちにルーラルビレッジの入り口にたどり着く。そこからさらに車を進めると間もなく右手に緑の看板が目に入る。昨年茨城県から移住された野田さんご夫婦が経営する「カフェ森のかおり」である。



お勧めのメニューは、ご主人が4時間かけて仕込むカレーライスと奥さんが作る昔ながらのスパゲッティーナポリタン。ポリューム満点の日替わりランチはコーヒーが付

いて800円。各種パーテイにも利用可能。「最近では苦小牧からも足を運んでくれる方がいるんですよ」と奥さん。町内にゆったりした時間を過ごせる場所がひとつできた。



営業時間、午前10時から午後4時。

定休日は、不定休。
電話(0145) 2713699

